

本校の地域連携・地域交流

富士河口湖町立船津小学校

「船津ふれあいフェスティバル・音楽劇鑑賞会」による交流活動

1. 目的と経緯

「船津ふれあいフェスティバル」は、児童会活動として行い、他学年同士で仲よく協力し交流を深めたり、保護者・地域の方・来年度入学児とのふれあいを深めたりすることを目的に行われてきた。ここ数年はコロナ禍にあり、3密回避のため人数制限をしたり地域の方や来入児を招待できていなかったりといった状況である。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した本年度は、本来の目的に向けて、保護者の人数制限なしに行った。今年度は11月11日(土)に5年生PTA主催の「音楽劇鑑賞会」の日程と重ねて実施し、同日開催にすることで多忙化の改善にもつながっている。

2. 内容

「船津ふれあいフェスティバル」は、18の縦割り班ごとに「スリッパかご入れ」「紙ひこうきとばし」「ピンポンカップインゲーム」「水中コインおとし」「ストラックアウト」「30秒ピタリチャレンジ」等、来場者が誰でも楽しめるゲームコーナーをつくった。6年生を中心に知恵を出し合い、企画から運営に渡るまで一人ひとりの児童が役割を果たし、自治的な活動として取り組むことができた。また、全教職員が縦割り班指導に関わるので、4年生PTAに受付と校内巡回をお願いした。

「音楽劇鑑賞会」は、5年生PTAが中心となり、劇団『歌舞人』をお招きし、児童・保護者が一緒になって音楽劇を鑑賞することができ、とても好評だった。内容も『アラジンと魔法のランプ』だったので、児童にとっても馴染みのあるミュージカルだった。

3. 成果(○)と課題(●)

- 6年生を中心に全ての児童が企画から運営に携わるなど自治的な活動ができ、縦割り班ごとに生き生きと活動する姿が見られた。また、リーダーシップとフォロワーシップが身につく活動ができた。
- 全校児童と保護者が一緒になってゲームを楽しんだり劇を鑑賞したりしたことで、一体感を感じることができた。
- 600名弱の児童と保護者、地域の方や来年度入学児が一堂に会して行えるフェスティバルのあり方を、今後も模索していく必要がある。
- 来年度入学児との関係づくり。船津フェスティバルでの交流が難しいようなら、1年生との交流会等を考えていく必要がある。

